

対象校No. 1067

注4

学校コード F114310104909

注3

設置年度 令和 5年度

計画の区分： 専門職大学の設置

注1

認可

注2

ビューティ&ウェルネス専門職大学
ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科

【認可】 設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正前大学設置基準適用)

学校法人ミスパリア学園
令和6年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 総務課

職名・氏名 カチョウ ヤマダ ケンタロウ
課長 山田 健太郎

電話番号 045-530-9119

(夜間)

e-mail k.yamada@b-w.ac.jp

(注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。

2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。

設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。

例) 〇〇大学 △△学部 □□学科

(旧名称：◇◇学科(平成◇◇年度より学科名称変更))

表題は「計画の区分」に従い、記入してください。

例)

- 大学の設置の場合：「〇〇大学」
- 学部の設置の場合：「〇〇大学 △△学部」
- 学部の学科の設置の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科」
- 短期大学の学科の設置の場合：「〇〇短期大学 △△学科」
- 大学院設置の場合：「〇〇大学大学院」
- 大学院の研究科の設置の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科」
- 大学院の研究科の専攻の設置等の場合：「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(修士課程)」
- 通信教育課程の開設の場合：「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」

3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。

なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。

https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html

4 対象校No.については、「【別紙】令和6年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

ビューティ&ウェルネス学部

ビューティ&ウェルネス学科	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	1
2. 授業科目の概要	5
3. 施設・設備の整備状況、経費	15
4. 既設大学等の状況	16
5. 教員組織の状況	17
6. 附帯事項等に対する履行状況等	28
7. その他全般的事項	30

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設置者

学校法人ミスパリ学園

(2) 大学名

ビューティ&ウェルネス専門職大学

(3) 調査対象大学等の位置

〒224-0012

神奈川県横浜市都筑区牛久保3-9-3

- (注) ・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。
・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職名	設置時	変更状況	備考
理事長	(シモムラ アケミ) 下村 朱美 (平成20年4月)	—	
学長	(ムロフシ キミコ) 室伏 きみ子 (令和5年4月)	—	
学部長	(ホンダ ゼンイチロウ) 本田 善一郎 (令和5年4月)	—	
学科長等	(ホンダ ゼンイチロウ) 本田 善一郎 (令和5年4月)	—	

- (注) ・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を()書きで記入してください。
(例) 令和5年度に報告済の内容 → (5)
令和6年度に報告する内容 → (6)
・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載(昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正)するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注) ・ 当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください(入試区分ごとではありません)。
 ・ なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位(大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」)のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 ・ 様式は、令和元年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合(令和6年度までの6年間)ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 ・ 留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「『留学』の在留資格(いわゆる「留学ビザ」)」により、我が国の大学(大学院を含む。)、短期大学、高等専門学校、専修学校(専門課程)及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 ・ 短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) - ① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称(学位)	学位又は学科の分野	設置時の計画				学生募集の停止について	備考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科	保健衛生学関係(看護学関係及びリハビリテーション関係を除く。)	4	234	0	948	-	
ビューティ&ウェルネス学士(専門職)				2年次 0人 3年次 6人 4年次 0人			

- (注) ・ 定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を()書きで記入してください。
 ・ 基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 ・ 「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要(別記様式第2号(その2の1))」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 ・ 学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止(予定)」と記載してください。(学生募集停止を予定していない場合は「-」を選択。)

(5) - ② 調査対象学部等の入学者の状況

区分	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		春季入学以外の学期区分について	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	備考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	人 () []	234 () []	人 () []	人 () []	人 () []	-	0.55倍	一倍	
志願者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	173 () []	() []	150 () []	() []	-			
受験者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	172 () []	() []	147 () []	() []	-			
合格者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	167 () []	() []	138 () []	() []	-			
B 入学者数	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	() []	149 () []	() []	130 () []	() []	-			
入学定員超過率 B/A	-	-	-	-	-	-	-	-	0.63	-	0.55	-	-			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください)。
 ・ 調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「-」を記入してください。
 ・ ()内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、()書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 転入学生は記入しないでください。
 ・ []内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「-」を記入してください。
 ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「-」を記入してください。
 ・ 「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 ・ 報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択してください。(春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「-」を選択。)
 ・ 「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 ・ 「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 ・ 「(5) - ② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) - ③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	149 [—] (—)	— [—] (—)	130 [—] (—)	— [—] (—)	
2年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	129 [—] (—)	— [—] (—)	
3年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	149 [—] (—)	— [—] (—)	259 [—] (—)	— [—] (—)	

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ []内には、留学生の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ ()内には、留年者の状況について、**内数**で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・ **編入学生や転入学生も含めて**記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
 - ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期(春季入学以外の学期区分を設けている場合)に分けて数値を記入してください。**春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。**
また、その他の学期に入学定員を設けている場合は、備考欄にその人数を記入してください。
 - ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数(b)	退学者数(a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和元年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
令和2年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
令和3年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
令和4年度	- 人	- 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
令和5年度	149 人	20 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	20 人	0 人	就学意欲の低下(2人)、他の教育機関への入学・転学(8人) 家庭の事情(3人)、除籍(1人)、その他(一身上の都合 6人)
令和6年度	259 人	0 人	令和元年度	- 人	- 人	
			令和2年度	- 人	- 人	
			令和3年度	- 人	- 人	
			令和4年度	- 人	- 人	
			令和5年度	- 人	- 人	
			令和6年度	- 人	- 人	
合計		20 人		20 人	0 人	

- (注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。(在学者数から退学者数を減らす必要はありません。)
 - ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
 - ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生も含めて記入してください。
 - ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「就学意欲の低下(〇人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例)・就学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和元年度】

$$\frac{\text{令和元年度の退学者数(a)}}{\text{令和元年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和2年度】

$$\frac{\text{令和2年度の退学者数(a)}}{\text{令和2年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和3年度】

$$\frac{\text{令和3年度の退学者数(a)}}{\text{令和3年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和4年度】

$$\frac{\text{令和4年度の退学者数(a)}}{\text{令和4年度の在学者数(b)}} = \frac{-}{-} = \boxed{-} \%$$

【令和5年度】

$$\frac{\text{令和5年度の退学者数(a)}}{\text{令和5年度の在学者数(b)}} = \frac{20}{149} = \boxed{13.42} \%$$

【令和6年度】

$$\frac{\text{令和6年度の退学者数(a)}}{\text{令和6年度の在学者数(b)}} = \frac{0}{259} = \boxed{0} \%$$

- (注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科

(1) ① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	ビューティ&ウェルネス入門	1前	1			6	1					1
	キャリアデザイン I	1前	2				1					
	キャリアデザイン II	2後	2				1					
	コミュニケーション論	1後	2				1					
	コミュニケーション演習	1後	2				1					
	英語 I	1後	2			1		1	1			
	英語 II	2前	2			1		1	1			
	英語 III	2後	2	2		1						
	中国語入門	2後	2	2								1
	心理学	1前	2					1				
	比較芸術論	1後	2	2		1						
	身体表現論	1後	2	2		1						
	伝統文化演習	1後	2	2								2
	ジェンダーとダイバーシティ	1後	2	2		1						
	生命科学	1前	2			1						1
	化学	1前	2			1						
	データサイエンス入門	1前	2									1
	経済学	1後	2			1						
	国際関係論	2前	2	2								1
	法学概論	2前	2	2								1
現代社会論	2前	2	2								1	
小計 (21科目)	—	—	23	18	0	9	4	2	1	0	9	
職業専門科目	ヘルスプロモーション概論	1前	1									1
	ヘルスプロモーション各論(事例検討およびシミュレーション)	1前	1			1						
	人体構造学	1前	2			1						
	生理学	1前	2					1				
	皮膚科学	1前	2			1	1					
	化粧品学	1後	2			1	1					
	生化学	1後	2				1					
	栄養学	2前	2			1						
	衛生学・公衆衛生学	2後	2			1						
	リスク管理、ウェルネス推進のための臨床医学的基礎	3後	1			1						
	救急法	3後	1			1						
	病態生理学	3・4後	1	1								1
	アンチエイジングの科学	3・4後	1	1								1
	統合医療論	3・4後	2									1
	身体運動学	3前	1			1						
	運動生理学	3前	1			1						
	運動指導演習	3前	2				1					
企業実習Ⅳ(運動指導実習)【臨】	3後	2				2						
フィットネス実習Ⅰ【※】	2前	1					1					
フィットネス実習Ⅱ【※】	2前	1						1				
フィットネス実習Ⅲ【※】	3後	1							1			
フィットネス実習Ⅳ【※】	3後	1								1		

【令和6年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
基礎科目	ビューティ&ウェルネス入門	1前	1			6	1					1
	キャリアデザイン I	1前	2				1					
	キャリアデザイン II	2後	2				1					
	コミュニケーション論	1後	2				1					
	コミュニケーション演習	1後	2				1					
	英語 I	1後	2			1		1	1			
	英語 II	2前	2			1		1	1			
	英語 III	2後	2	2		1						
	中国語入門	2後	2	2								1
	心理学	1前	2					1				
	比較芸術論	1後	2	2		1						
	身体表現論	1後	2	2		1						
	伝統文化演習	1後	2	2								4
	ジェンダーとダイバーシティ	1後	2	2		1						
	生命科学	1前	2			1	1					1
	化学	1前	2			1						
	データサイエンス入門	1前	2									3
	経済学	1後	2			1						
	国際関係論	2前	2	2								1
	法学概論	2前	2	2								1
現代社会論	2前	2	2								1	
小計 (21科目)	—	—	23	18	0	9	5	2	1	0	13	
職業専門科目	ヘルスプロモーション概論	1前	1									1
	ヘルスプロモーション各論(事例検討およびシミュレーション)	1前	1			1						
	人体構造学	1前	2			1		1				
	生理学	1前	2					1				
	皮膚科学	1前	2			1	1					
	化粧品学	1後	2			1	1					
	生化学	1後	2				1					
	栄養学	2前	2			1						
	衛生学・公衆衛生学	2後	2			1						
	リスク管理、ウェルネス推進のための臨床医学的基礎	3後	1			1						
	救急法	3後	1			1						
	病態生理学	3・4後	1	1								1
	アンチエイジングの科学	3・4後	1	1								1
	統合医療論	3・4後	2									1
	身体運動学	3前	1			1						
	運動生理学	3前	1			1						
	運動指導演習	3前	2				1					
企業実習Ⅳ(運動指導実習)【臨】	3後	2				2						
フィットネス実習Ⅰ【※】	2前	1					1					
フィットネス実習Ⅱ【※】	2前	1						1				
フィットネス実習Ⅲ【※】	3後	1							1			
フィットネス実習Ⅳ【※】	3後	1								1		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
職業専門科目の追求	トリートメント基礎理論Ⅰ	1前	2			1							
	トリートメント基礎理論Ⅱ	1後	2			1							
	トリートメント技術の理論と方法	2前	2				1						
	トリートメント応用理論	2後	2				1						
	トリートメント品質管理論	3前	1				1						
	ホスピタリティ論	2前	1				1						
	ホスピタリティ演習	2前	1				1						
	カウンセリング論	2前	1					2					
	カウンセリング演習	2前	1					2					
	プランニング実習【※】	2後	2					2					
	ボデイトリートメント実習Ⅰ【※】	1前	2				1		1				
	ボデイトリートメント実習Ⅱ【※】	2後	2					1	1				
	ボデイトリートメント実習Ⅲ【※】	3・4後	2					1	1				
	フェイシャルトリートメント実習Ⅰ【※】	1後	2					1	1				
	フェイシャルトリートメント実習Ⅱ【※】	2前	2					1	1				
	トリートメント総合実習【※】	4前	4					2	2				
	企業実習Ⅰ(早期体験実習)【臨】	1後	2				1	3	4				
	企業実習Ⅱ(接遇実習)【臨】	2後	2				1	3	4				
	トリートメント実践実習【連】	3前	2				1	4	2				
	品質管理演習【連】	3後	2				1	4	2				
	企業実習Ⅴ(総合実習)【臨】	4後	8			1	2	7	6				
	メイクアップ実習Ⅰ【※】	1前	2				1					1	
	メイクアップ実習Ⅱ【※】	2後	2				1					1	
	企業実習Ⅲ(メイクサロン実習)【臨】	3前	2				1	1					
	ネイルデザイン実習Ⅰ【※】	1後	2				1					1	
	ネイルデザイン実習Ⅱ【※】	2前	2		2		1					1	
	美の変遷と展望	2後	2		2							1	
色彩学	2後	2		2							1		
アロマセラピー演習	3・4後	2		2							1		
ホリスティックセラピー実習【※】	3・4後	2		2		1							
ファッションコーディネート実習【※】	3後	1		1			1						
トータルコーディネート実習【※】	4前	1		1								1	
小計(54科目)	—	75	22	0	7	8	11	6	0	9			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任		
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手			
職業専門科目の追求	トリートメント基礎理論Ⅰ	1前	2			1							
	トリートメント基礎理論Ⅱ	1後	2			1							
	トリートメント技術の理論と方法	2前	2				1						
	トリートメント応用理論	2後	2					1					
	トリートメント品質管理論	3前	1				1						
	ホスピタリティ論	2前	1				1						
	ホスピタリティ演習	2前	1				1						
	カウンセリング論	2前	1					2					
	カウンセリング演習	2前	1					2					
	プランニング実習【※】	2後	2					2					
	ボデイトリートメント実習Ⅰ【※】	1前	2				1		1				
	ボデイトリートメント実習Ⅱ【※】	2後	2					1	1				
	ボデイトリートメント実習Ⅲ【※】	3・4後	2		2			1	1				
	フェイシャルトリートメント実習Ⅰ【※】	1後	2					1	1				
	フェイシャルトリートメント実習Ⅱ【※】	2前	2					1	1				1
	トリートメント総合実習【※】	4前	4					2	2				
	企業実習Ⅰ(早期体験実習)【臨】	1後	2				1	3	4				
	企業実習Ⅱ(接遇実習)【臨】	2後	2				1	3	4				
	トリートメント実践実習【連】	3前	2				1	4	2				
	品質管理演習【連】	3後	2				1	4	2				
	企業実習Ⅴ(総合実習)【臨】	4後	8			1	2	7	6				
	メイクアップ実習Ⅰ【※】	1前	2				1						1
	メイクアップ実習Ⅱ【※】	2後	2				1						1
	企業実習Ⅲ(メイクサロン実習)【臨】	3前	2				1	1					
	ネイルデザイン実習Ⅰ【※】	1後	2				1						1
	ネイルデザイン実習Ⅱ【※】	2前	2		2		1						1
	美の変遷と展望	2後	2		2								3
色彩学	2後	2		2								1	
アロマセラピー演習	3・4後	2		2								1	
ホリスティックセラピー実習【※】	3・4後	2		2		1							
ファッションコーディネート実習【※】	3後	1		1			1						
トータルコーディネート実習【※】	4前	1		1								3	
小計(54科目)	—	75	22	0	7	8	11	6	0	12			

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	経営の基礎	経営学概論	2前	2			1					
		ファイナンスの基礎	2前	2			1					
		人材育成論	2後	2			1					
		経営組織論	3前	2			1					
		マーケティング論	3前	2			1					
		経営戦略論	3後	2			1					
	ビューティ&ウェルネス産業の振興	ヘルスケア産業論	2前	1								1
		サービス科学の基礎	2前	1								1
		消費者生活論(関係法規を含む)	2後	2			1					1
		サロンマネジメント演習	3前	2					1			
		商品企画論	3後	2			1					
		起業論	3・4前	2			1					
		地域産業活性化論	3・4前	2								1
		インバウンド論	3・4前	2								1
		ウェルネスツーリズム論	3・4前	2								1
		消費者心理論	3・4前	2								1
		ウェブメディア演習	3・4前	2								1
		ビジネスプレゼンテーション演習	3・4前	2				1				
		商品開発と効果検証	4前	2				1				
		海外研修【※】	4前	2			1					
小計(20科目)	—	20	18	0	7	2	1	0	0	7		
総合科目	総合演習Ⅰ	3後	2			4	4	8	7			
	総合演習Ⅱ	4前	2			4	4	8	7			
	小計(2科目)	—	4	0	0	4	4	8	7	0	0	
合計(97科目)			—	122	58	0	19	10	12	7	0	23
卒業要件及び履修方法												
次により、必修科目122単位、選択科目10単位以上、合計132単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：48単位(年間)) 基礎科目は、必修23単位を含め27単位以上 ※選択科目のうち比較芸術論、身体表現論、伝統文化演習、ジェンダーとダイバーシティから2単位、国際関係論、法学概論、現代社会論から2単位を選択必修とする。 職業専門科目は、必修75単位を含め79単位以上 ※選択科目のうち、フィットネス実習Ⅰ、フィットネス実習Ⅱ、ネイルデザイン実習Ⅱから2単位を選択必修とする。 展開科目は、必修20単位を含め22単位以上 総合科目は、4単位 実験・実習科目を40単位以上 臨地実務実習科目及び連携実務演習等科目を20単位												

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	経営の基礎	経営学概論	2前	2			1					
		ファイナンスの基礎	2前	2			1					
		人材育成論	2後	2			1					
		経営組織論	3前	2			1					
		マーケティング論	3前	2			1					
		経営戦略論	3後	2			1					
	ビューティ&ウェルネス産業の振興	ヘルスケア産業論	2前	1								1
		サービス科学の基礎	2前	1								1
		消費者生活論(関係法規を含む)	2後	2			1					1
		サロンマネジメント演習	3前	2					1			
		商品企画論	3後	2			1					
		起業論	3・4前	2			1					
		地域産業活性化論	3・4前	2								1
		インバウンド論	3・4前	2								1
		ウェルネスツーリズム論	3・4前	2								1
		消費者心理論	3・4前	2								1
		ウェブメディア演習	3・4前	2								1
		ビジネスプレゼンテーション演習	3・4前	2				1				
		商品開発と効果検証	4前	2				1				
		海外研修【※】	4前	2			1					
小計(20科目)	—	20	18	0	7	2	1	0	0	7		
総合科目	総合演習Ⅰ	3後	2			4	4	8	7			
	総合演習Ⅱ	4前	2			4	4	8	7			
	小計(2科目)	—	4	0	0	4	4	8	7	0	0	
合計(97科目)			—	122	58	0	19	11	12	7	0	30
卒業要件及び履修方法												
次により、必修科目122単位、選択科目10単位以上、合計132単位以上を修得すること。 (履修科目の登録の上限：48単位(年間)) 基礎科目は、必修23単位を含め27単位以上 ※選択科目のうち比較芸術論、身体表現論、伝統文化演習、ジェンダーとダイバーシティから2単位、国際関係論、法学概論、現代社会論から2単位を選択必修とする。 職業専門科目は、必修75単位を含め79単位以上 ※選択科目のうち、フィットネス実習Ⅰ、フィットネス実習Ⅱ、ネイルデザイン実習Ⅱから2単位を選択必修とする。 展開科目は、必修20単位を含め22単位以上 総合科目は、4単位 実験・実習科目を40単位以上 臨地実務実習科目及び連携実務演習等科目を20単位												

【令和5年度】

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任			
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手				
基礎科目	キャリア教育	ビューティ&ウェルネス入門	1前	1			6	1					1	
	キャリアデザイン I	1前	2				1							
	キャリアデザイン II	2後	2				1							
	言語とコミュニケーション	コミュニケーション論	1後	2				1						
		コミュニケーション演習	1後	2				1						
		英語 I	1後	2			1		1	1				
		英語 II	2前	2			1		1	1				
		英語 III	2後		2		1							
		中国語入門	2後	2										1
		心理学	1前	2					1					
	人間と文化	比較芸術論	1後		2		1							
		身体表現論	1後		2		1							
		伝統文化演習	1後		2									2
		ジェンダーとダイバーシティ	1後		2		1							
		生命科学	1前	2			1							2
	自然科学と社会	化学	1前	2			1							
		データサイエンス入門	1前	2										1
		経済学	1後	2			1							
		国際関係論	2前		2									1
		法学概論	2前		2									1
		現代社会論	2前		2									1
小計 (21科目)		—	23	18	0	9	4	2	1	0			10	
職業専門科目	基礎医学とヘルスプロモーション	ヘルスプロモーション概論	1前	1										1
		ヘルスプロモーション各論(事例検討およびシミュレーション)	1前	1			1							
		人体構造学	1前	2										1
		生理学	1前	2					1					
		皮膚科学	1前	2			1	1						
		化粧品学	1後	2			1	1						
		生化学	1後	2				1						
		栄養学	2前	2			1							
		衛生学・公衆衛生学	2後	2			1							
		リスク管理、ウェルネス推進のための臨床医学的基礎	3後	1			1							
		救急法	3後	1			1							
		病態生理学	3・4後	1										1
		アンチエイジングの科学	3・4後	1										1
		統合医療論	3・4後	2										1
		身体運動学	3前	1			1							
		運動生理学	3前	1			1							
		運動指導演習	3前	2				1						
		企業実習Ⅳ(運動指導実習)【臨】	3後	2				2						
		フィットネス実習Ⅰ【※】	2前		1					1				
		フィットネス実習Ⅱ【※】	2前		1					1				
フィットネス実習Ⅲ【※】	3後		1					1						
フィットネス実習Ⅳ【※】	3後		1					1						

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			専任教員等の配置					兼 任 ・ 兼 担	
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手		
職 業 専 門 科 目	トリートメント基礎理論Ⅰ	1前	2			1						
	トリートメント基礎理論Ⅱ	1後	2			1						
	トリートメント技術の理論と方法	2前	2				1					
	トリートメント応用理論	2後	2				1					
	トリートメント品質管理論	3前	1				1					
	ホスピタリティ論	2前	1				1					
	ホスピタリティ演習	2前	1				1					
	カウンセリング論	2前	1					2				
	カウンセリング演習	2前	1					2				
	プランニング実習【※】	2後	2					2				
	ポデイトリートメント実習Ⅰ【※】	1前	2				1		1			
	ポデイトリートメント実習Ⅱ【※】	2後	2					1	1			
	ポデイトリートメント実習Ⅲ【※】	3・4後	2	2				1	1			
	フェイシャルトリートメント実習Ⅰ【※】	1後	2					1	1			
	フェイシャルトリートメント実習Ⅱ【※】	2前	2					1	1			
	トリートメント総合実習【※】	4前	4					2	2			
	企業実習Ⅰ(早期体験実習)【臨】	1後	2				1	3	4			
	企業実習Ⅱ(接遇実習)【臨】	2後	2				1	3	4			
	トリートメント実践実習【連】	3前	2				1	4	2			
	品質管理演習【連】	3後	2				1	4	2			
	企業実習Ⅴ(総合実習)【臨】	4後	8			1	2	7	6			
	メイクアップ実習Ⅰ【※】	1前	2				1					1
	メイクアップ実習Ⅱ【※】	2後	2				1					1
	企業実習Ⅲ(メイクサロン実習)【臨】	3前	2				1	1				
	ネイルデザイン実習Ⅰ【※】	1後	2				1					1
	ネイルデザイン実習Ⅱ【※】	2前	2				1					1
	美の変遷と展望	2後	2									1
	色彩学	2後	2									1
アロマセラピー演習	3・4後	2									1	
ホリスティックセラピー実習【※】	3・4後	2				1						
ファッションコーディネート実習【※】	3後	1					1					
トータルコーディネート実習【※】	4前	1									1	
小計(54科目)	—	75	22	0	7	8	11	6	0	10		

科目区分	授業科目の名称	配当年次	単位数			専任教員等の配置					兼任・兼任	
			必修	選択	自由	教授	准教授	講師	助教	助手		
展開科目	経営学概論	2前	2			1						
	ファイナンスの基礎	2前	2			1						
	人材育成論	2後	2			1						
	経営組織論	3前	2			1						
	マーケティング論	3前	2			1						
	経営戦略論	3後	2			1						
	ヘルスケア産業論	2前	1									1
	サービス科学の基礎	2前	1									1
	消費者生活論(関係法規を含む)	2後	2			1						1
	サロンマネジメント演習	3前	2					1				
	商品企画論	3後	2			1						
	起業論	3・4前	2			1						
	地域産業活性化論	3・4前	2									1
	インバウンド論	3・4前	2									1
	ウェルネスツーリズム論	3・4前	2									1
	消費者心理論	3・4前	2									1
	ウェブメディア演習	3・4前	2									1
	ビジネスプレゼンテーション演習	3・4前	2				1					
	商品開発と効果検証	4前	2				1					
	海外研修【※】	4前	2			1						
小計(20科目)	—	20	18	0	7	2	1	0	0	0	7	
総合科目	総合演習Ⅰ	3後	2			4	4	8	7			
	総合演習Ⅱ	4前	2			4	4	8	7			
	小計(2科目)	—	4	0	0	4	4	8	7	0	0	
合計(97科目)	—	122	58	0	19	10	12	7	0	0	25	

卒業要件及び履修方法

次により、必修科目122単位、選択科目10単位以上、合計132単位以上を修得すること。
(履修科目の登録の上限：48単位(年間))
基礎科目は、必修23単位を含め27単位以上
※選択科目のうち比較芸術論、身体表現論、伝統文化演習、ジェンダーとダイバーシティから2単位、国際関係論、法学概論、現代社会論から2単位を選択必修とする。
職業専門科目は、必修75単位を含め79単位以上
※選択科目のうち、フィットネス実習Ⅰ、フィットネス実習Ⅱ、ネイルデザイン実習Ⅱから2単位を選択必修とする。
展開科目は、必修20単位を含め22単位以上
総合科目は、4単位
実験・実習科目を40単位以上
臨地実務実習科目及び連携実務演習等科目を20単位

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には 設置認可時又は届出時の授業科目全て(兼任、兼任教員が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は太字の赤字**としてください。
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
- (2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
- ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には「【※】」、「臨地実務実習」による授業科目には「【臨】」、「連携実務演習」による授業科目には「【連】」を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
- (例：記載順)【認可時又は届出時】→【令和6年度(新)】→【令和5年度(新)】→【令和4年度】→【令和3年度】→【令和6年度(旧)】→【令和5年度(旧)】

(1) 一②授業科目表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・担当専任教員就任辞退の理由により、「人体構造学」の教員配置を「教授1」から「兼任1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「生命科学」の兼任・兼任の配置を「1」から「2」に変更。

【令和6年度】

- ・教育効果を高めるため、「伝統文化演習」の兼任・兼任の配置を「2」から「4」に変更。
- ・担当兼任講師の専任教員採用の理由により、「生命科学」の教員配置を「教授1・兼任2」から「教授1・准教授1・兼任1」に変更。
- ・担当兼任講師辞任の理由により、「データサイエンス入門」の兼任・兼任の配置を「1」から「3」に変更。
- ・担当専任教員採用の理由により、「人体構造学」の教員配置を「兼任1」から「教授1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「フェイシャルトリートメント実習Ⅱ」の兼任・兼任の配置を「0」から「1」に変更。
- ・教育効果を高めるため、「美の変遷と展望」「トータルコーディネート実習」の兼任・兼任の配置を「1」から「3」に変更。

- (注) ・ 2(1)一① 授業科目表に記入された各年度における変更内容(配当年次の変更、専任教員等の配置の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など)を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計(A)	必修	選択	自由	計	
64 科目	33 科目	0 科目	97 科目	64 科目 [0]	33 科目 [0]	0 科目 [0]	97 科目 [0]	

- (注) ・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1科目減の場合：△1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
 - ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

- (注) ・ 設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。
- ・ 教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
 - ・ 専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
 - ・ 該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

- (注) ・ 授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（3）と廃止科目（4）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（A）}} = \frac{0}{97} = \boxed{0} \%$$

- (注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。
・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「(3) 未開講科目」と「(4) 廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況, 経費

区 分		内 容				備 考			
(1) 校 地 等	区 分	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計	借用面積： 13,676.71㎡ 借用期間： 20年			
	校 舎 敷 地	13,676.71㎡	0㎡	0㎡	13,676.71㎡				
	運 動 場 用 地	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	小 計	13,676.71㎡	0㎡	0㎡	13,676.71㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	13,676.71㎡	0㎡	0㎡	13,676.71㎡				
(2) 校 舎	専 用	共 用	共用する他の 学校等の専用	計					
	11,339.14㎡ (11,339.14㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	11,339.14㎡ (11,339.14㎡)					
(3) 教 室 等	講 義 室	演 習 室	実験実習室	情報処理学習施設	語学学習施設				
	21室	2室	10室	1室 (補助職員 1人)	0室 (補助職員 0人)				
(4) 専任教員研究室	新設学部等の名称		室 数						
	ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科		44 室						
(5) 図 書 ・ 設 備	新設学部等の 名称	図 書	学術雑誌		視聴覚資料	機 械 ・ 器 具	標 本		
		[うち外国書] 冊	[うち外国書] 種	電子ジャーナル [うち外国書]				点	点
	ビューティ&ウェルネス学部	10,000 [700] (10,000 [700])	16 [1] (16 [1])	1 [1] (1 [1])	21 (21)	6,338 (4,216)	2 (2)		
	計	10,000 [700] (10,000 [700])	16 [1] (16 [1])	1 [1] (1 [1])	21 (21)	6,338 (4,216)	2 (2)		
(6) 図 書 館	面 積		閱 覧 座 席 数		収 納 可 能 冊 数				
	361.99㎡		96		30,000				
(7) 体 育 館	面 積		体 育 館 以 外 の ス ポ ー ツ 施 設 の 概 要						
	—㎡		25mプール1面						
(8) 経費の見積り及び維持方法の概要	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	図書購入費は、電子 ジャーナル・データ ベースの整備費（運用 コスト含む）を含む。 学生食堂設置に伴う厨 房機器購入のため (6)	
		教員1人当り研究費等	300千円	300千円	図書購入費	39,740千円	1,527千円		1,663千円
	共同研究費等	3,000千円	3,000千円	設備購入費	224,173千円	168,439千円 144,789千円	0千円		
	学生1人当り 納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次		
		1,595千円	1,395千円	1,395千円	1,395千円	—千円	—千円		
学生納付金以外の維持方法の概要		手数料収入・雑収入等							

- (注) ・ 設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)に準じて作成してください。(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はAC対象学部等の数値を記入してください。)
- ・ 運動場用地が校舎敷地と別地にある場合は、その旨(所要時間・距離等)を「備考」に記入してください。
 - ・ 「(5)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(6)」を「備考」に赤字で記入してください。
なお、昨年度の報告において赤字で見え消しした部分については、見え消しのまま黒字にしてください。
 - ・ 校舎等建物の計画の変更(校舎又は体育館の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。
 - ・ 国立大学については「(8)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大学の名称	ビューティ&ウェルネス専門職大学										収容定員充足率0.7倍以下の学科数	1	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備考			
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度					
ビューティ&ウェルネス学部	4	234	3年次6	948	-	0.55	-	-	令和5	-				
ビューティ&ウェルネス学科	4	234	3年次6	948	ビューティ&ウェルネス学士(専門職)	0.55	-	-	令和5	神奈川県横浜市都筑区牛久保3-9-3				
大学全体	4	234	3年次6	948	-	0.55	-	-	-	-				

- (注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校(以下「大学等」という。)について、既に設置している学部等(短期大学、高等専門学校にあっては学科等)の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。(大学院、専攻科及び別科を除く)。
 なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
- ・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
 - ・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
 ※「入学定員を定めている組織」ごとには、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
 履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
 - ・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
 - ・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
 開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
 算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引(令和7年度開設用)IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・「収容定員充足率(控除後)」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
 なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
 - ・「収容定員充足率(控除後含む)」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
 - ・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
 - ・「所在地」及び「備考」欄については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教員組織の状況

<ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科>

(1) ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

【令和5年度】

【令和6年度】

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
専	教授(学長)	室伏 きみ子 (75) <令和5年4月> 医学博士	専	教授(学長)	室伏 きみ子 (76) <令和5年4月> 医学博士	専	教授(学長)	室伏 きみ子 (77) <令和5年4月> 医学博士
		ビューティ&ウェルネス入門 生命科学			ビューティ&ウェルネス入門 生命科学			ビューティ&ウェルネス入門 生命科学
専	教授(学長)	藪内佐斗司(直樹) (69) <令和5年4月> 芸術学修士	専	教授(学長)	藪内佐斗司(直樹) (70) <令和5年4月> 芸術学修士	専	教授(学長)	藪内佐斗司(直樹) (70) <令和5年4月> 芸術学修士
		ビューティ&ウェルネス入門 比較芸術論			ビューティ&ウェルネス入門 比較芸術論			ビューティ&ウェルネス入門 比較芸術論
専	教授	猪崎 弥生 (69) <令和5年4月> 博士(学術)	専	教授	猪崎 弥生 (69) <令和5年4月> 博士(学術)	専	教授	猪崎 弥生 (70) <令和5年4月> 博士(学術)
		ビューティ&ウェルネス入門 身体表現論 ジェンダーとダイバーシティ			ビューティ&ウェルネス入門 身体表現論 ジェンダーとダイバーシティ			ビューティ&ウェルネス入門 身体表現論 ジェンダーとダイバーシティ
専	教授(学長)	本田 善一郎 (67) <令和5年4月> 博士(医学)	専	教授(学長)	本田 善一郎 (67) <令和5年4月> 博士(医学)	専	教授(学長)	本田 善一郎 (68) <令和5年4月> 博士(医学)
		ビューティ&ウェルネス入門 ヘルスプロモーション各論(事例 検討およびシミュレーション) リスク管理、ウェルネス推進の ための臨床医学的基礎 救急法			ビューティ&ウェルネス入門 ヘルスプロモーション各論(事例 検討およびシミュレーション) リスク管理、ウェルネス推進の ための臨床医学的基礎 救急法			ビューティ&ウェルネス入門 ヘルスプロモーション各論(事例 検討およびシミュレーション) リスク管理、ウェルネス推進の ための臨床医学的基礎 救急法
専	教授	中島 敬方 (68) <令和6年4月> 修士(経営学)	専	教授	中島 敬方 (67) <令和6年4月> 修士(経営学)	専	教授	中島 敬方 (68) <令和6年4月> 修士(経営学)
		経営学概論 経営戦略論			経営学概論 経営戦略論			経営学概論 経営戦略論
専	教授	林 明人 (66) <令和5年4月> 医学博士						
		人体構造学 衛生学・公衆衛生学						
専	教授	秦 由美子 (65) <令和5年4月> 博士(教育学)	専	教授	秦 由美子 (65) <令和5年4月> 博士(教育学)	専	教授	秦 由美子 (66) <令和5年4月> 博士(教育学)
		英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ			英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ			英語Ⅰ 英語Ⅱ 英語Ⅲ
専	教授	山田 眞二 (65) <令和6年4月> 工学博士	兼任 講師	山田 眞二 (64) <令和5年4月> 工学博士	専	教授	山田 眞二 (65) <令和6年4月> 工学博士	
		化学			化学			化学
専	教授	山崎 春明 (63) <令和5年4月> 博士(技術経営)						
		経済学 ファイナンスの基礎						
			専	教授	新井 卓二 (46) <令和5年10月> 博士(学術)	専	教授	新井 卓二 (47) <令和5年10月> 博士(学術)
					経済学 ファイナンスの基礎			経済学 ファイナンスの基礎
専	准教授	嶋田(飯田)有紀子 (57) <令和5年4月> 博士(理学)	専	准教授	嶋田(飯田)有紀子 (57) <令和5年4月> 博士(理学)	専	准教授	嶋田(飯田)有紀子 (58) <令和5年4月> 博士(理学)
		生化学			生化学			生化学
専	講師	清野(八次)静香 (46) <令和6年4月> 学士(家政学)	専	講師	清野(八次)静香 (45) <令和6年4月> 学士(家政学)	専	講師	清野(八次)静香 (46) <令和6年4月> 学士(家政学)
		プランニング実習 ホスピタリティマネジメント実習Ⅲ※ トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習Ⅴ(総合実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ			プランニング実習 ホスピタリティマネジメント実習Ⅲ トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習Ⅴ(総合実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ			プランニング実習 ホスピタリティマネジメント実習Ⅲ トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習Ⅴ(総合実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	DIAS STEPHEN (43) <令和5年4月> 学士(経済学)
		英語 I 英語 II
専	講師	石田 航 (33) <令和5年4月> 博士(心理学)
		心理学 カウンセリング論 カウンセリング演習 総合演習 I 総合演習 II
実専	教授	唯根 妙子 (69) <令和6年4月> 理学士
		消費者生活論(関係法規を含む)
実専	教授	島谷 庸一 (66) <令和5年4月> 工学士
		皮膚科学 香粧品学
実専	教授	下村 朱美 (66) <令和5年4月> 短期大卒業
		ビューティ&ウェルネス入門 起業論 海外研修
実専	教授	北村 智恵 (65) <令和5年4月> 専門学校卒業
		ネイルデザイン実習 I ネイルデザイン実習 II 総合演習 I 総合演習 II
実専	教授	森 俊介 (62) <令和6年4月> 文学士
		人材育成論 経営組織論
実専	准教授	石館 周三 (63) <令和5年4月> 理学博士
		皮膚科学 香粧品学
実専	准教授	須賀谷(遠藤) 映子 (47) <令和5年4月> 学士(家政学)
		ビューティ&ウェルネス入門 ホトリートメント実習 I 企業実習 I(早期体験実習) 企業実習 II(接遇実習) トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II
実専	准教授	浅賀 寿美 (47) <令和6年4月> 学士(史学)
		トリートメント技術の理論と方法 トリートメント応用理論 トリートメント品質管理論 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II
実専	講師	廣石 裕 (55) <令和7年4月> ビューティビジネス修士 (専門職)
		企業実習 III(メイクサロン実習) ファッションコーディネート実習
実専	講師	久我(齋藤) 悦子 (46) <令和5年4月> 学士(中国語学)
		フェイシャルトリートメント実習 I トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	DIAS STEPHEN (43) <令和5年4月> 学士(経済学)
		英語 I 英語 II
専	講師	横田(星野) 悠季 (37) <令和5年4月> 博士(社会科学)
		心理学 カウンセリング論 カウンセリング演習 総合演習 I 総合演習 II
実専	教授	唯根 妙子 (69) <令和6年4月> 理学士
		消費者生活論(関係法規を含む)
実専	教授	島谷 庸一 (66) <令和5年4月> 工学士
		皮膚科学 香粧品学
実専	教授	下村 朱美 (66) <令和5年4月> 短期大卒業
		ビューティ&ウェルネス入門 起業論 海外研修
実専	教授	北村 智恵 (65) <令和5年4月> 専門学校卒業
		ネイルデザイン実習 I ネイルデザイン実習 II 総合演習 I 総合演習 II
実専	教授	森 俊介 (61) <令和6年4月> 文学士
		人材育成論 経営組織論
実専	准教授	石館 周三 (63) <令和5年4月> 理学博士
		皮膚科学 香粧品学
実専	准教授	須賀谷(遠藤) 映子 (47) <令和5年4月> 学士(家政学)
		ビューティ&ウェルネス入門 ホトリートメント実習 I 企業実習 I(早期体験実習) 企業実習 II(接遇実習) トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II
実専	准教授	浅賀 寿美 (46) <令和6年4月> 学士(史学)
		トリートメント技術の理論と方法 トリートメント応用理論 トリートメント品質管理論 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II
実専	講師	廣石 裕 (53) <令和7年4月> ビューティビジネス修士 (専門職)
		企業実習 III(メイクサロン実習) ファッションコーディネート実習
実専	講師	久我(齋藤) 悦子 (46) <令和5年4月> 学士(中国語学)
		フェイシャルトリートメント実習 I トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
専	講師	DIAS STEPHEN (44) <令和5年4月> 学士(経済学)
		英語 I 英語 II
専	講師	横田(星野) 悠季 (38) <令和5年4月> 博士(社会科学)
		心理学 カウンセリング論 カウンセリング演習 総合演習 I 総合演習 II
実専	教授	唯根 妙子 (70) <令和6年4月> 理学士
		消費者生活論(関係法規を含む)
実専	教授	島谷 庸一 (67) <令和5年4月> 工学士
		皮膚科学 香粧品学
実専	教授	下村 朱美 (67) <令和5年4月> 短期大卒業
		ビューティ&ウェルネス入門 起業論 海外研修
実専	教授	北村 智恵 (66) <令和5年4月> 専門学校卒業
		ネイルデザイン実習 I ネイルデザイン実習 II 総合演習 I 総合演習 II
実専	教授	森 俊介 (62) <令和6年4月> 文学士
		人材育成論 経営組織論
実専	准教授	石館 周三 (64) <令和5年4月> 理学博士
		皮膚科学 香粧品学
実専	准教授	須賀谷(遠藤) 映子 (48) <令和5年4月> 学士(家政学)
		ビューティ&ウェルネス入門 ホトリートメント実習 I 企業実習 I(早期体験実習) 企業実習 II(接遇実習) トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II
実専	准教授	浅賀 寿美 (47) <令和6年4月> 学士(史学)
		トリートメント技術の理論と方法 トリートメント応用理論 トリートメント品質管理論 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II
実専	講師	廣石 裕 (54) <令和7年4月> ビューティビジネス修士 (専門職)
		企業実習 III(メイクサロン実習) ファッションコーディネート実習
実専	講師	久我(齋藤) 悦子 (47) <令和5年4月> 学士(中国語学)
		フェイシャルトリートメント実習 I トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習 V(総合実習) 総合演習 I 総合演習 II

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実(研)	教授	生山 匡 (80) <令和7年4月> 博士(医学)
		身体運動学 運動生理学
実(研)	教授	平井(川手)由紀子 (63) <令和7年4月> 博士(学術)
		マーケティング論
実(研)	教授	押田 恭一 (58) <令和7年4月> 博士(医学)
		栄養学 商品企画論 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	教授	大滝 ゆかり (54) <令和6年4月> 経営管理修士(専門職)
		ビューティ&ウェルネス入門 トリートメント基礎理論Ⅰ トリートメント基礎理論Ⅱ 企業実習Ⅴ(総合実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	准教授	菅谷 正美 (66) <令和5年4月> 経営管理修士(専門職)
		コミュニケーション演習 ホスピタリティ論 ホスピタリティ演習
実(研)	准教授	齋藤 典子 (58) <令和5年4月> 修士(経営学)
		キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ
実(研)	准教授	小野 浩二 (49) <令和7年4月> 修士(体育学)
		運動指導演習 企業実習Ⅳ(運動指導実習)
実(研)	准教授	秋山 大介 (49) <令和7年4月> 学士(体育学)
		企業実習Ⅳ(運動指導実習) 商品開発と効果検証 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	准教授	大塚(吉田)美幸 (47) <令和5年4月> 技術経営修士(専門職)
		コミュニケーション論 ビジネスプレゼンテーション演習
実(研)	准教授	九島 紀子 (45) <令和5年4月> 博士(心理学)
		メイクアップ実習Ⅰ メイクアップ実習Ⅱ 企業実習Ⅲ(メイクサロン実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	講師	新井 達也 (44) <令和6年4月> 修士(工学)
		プランニング実習 トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習Ⅴ(総合実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	講師	櫻井 麻美 (39) <令和5年4月> 修士(医学)
		生理学 フィットネス実習Ⅰ フィットネス実習Ⅱ フィットネス実習Ⅲ フィットネス実習Ⅳ
実(研)	教授	本鍋田 あゆみ (58) <令和7年4月> 短期大学卒
		ホリスティックセラピー実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実(研)	教授	生山 匡 (78) <令和7年4月> 博士(医学)
		身体運動学 運動生理学
実(研)	教授	平井(川手)由紀子 (61) <令和7年4月> 博士(学術)
		マーケティング論
実(研)	教授	押田 恭一 (56) <令和7年4月> 博士(医学)
		栄養学 商品企画論 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	教授	大滝 ゆかり (54) <令和6年4月> 経営管理修士(専門職)
		ビューティ&ウェルネス入門 トリートメント基礎理論Ⅰ トリートメント基礎理論Ⅱ 企業実習Ⅴ(総合実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	准教授	菅谷 正美 (66) <令和5年4月> 経営管理修士(専門職)
		コミュニケーション演習 ホスピタリティ論 ホスピタリティ演習
実(研)	准教授	齋藤 典子 (58) <令和5年4月> 修士(経営学)
		キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ
実(研)	准教授	小野 浩二 (47) <令和7年4月> 修士(体育学)
		運動指導演習 企業実習Ⅳ(運動指導実習)
実(研)	准教授	秋山 大介 (47) <令和7年4月> 学士(体育学)
		企業実習Ⅳ(運動指導実習) 商品開発と効果検証 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	准教授	大塚(吉田)美幸 (47) <令和5年4月> 技術経営修士(専門職)
		コミュニケーション論 ビジネスプレゼンテーション演習
実(研)	准教授	九島 紀子 (45) <令和5年4月> 博士(心理学)
		メイクアップ実習Ⅰ メイクアップ実習Ⅱ 企業実習Ⅲ(メイクサロン実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	講師	新井 達也 (43) <令和6年4月> 修士(工学)
		プランニング実習 トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習Ⅴ(総合実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	講師	櫻井 麻美 (39) <令和5年4月> 博士(医学)
		生理学 フィットネス実習Ⅰ フィットネス実習Ⅱ フィットネス実習Ⅲ フィットネス実習Ⅳ
実(研)	教授	本鍋田 あゆみ (57) <令和7年4月> 短期大学卒
		ホリスティックセラピー実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名
実(研)	教授	生山 匡 (79) <令和7年4月> 博士(医学)
		身体運動学 運動生理学
実(研)	教授	平井(川手)由紀子 (62) <令和7年4月> 博士(学術)
		マーケティング論
実(研)	教授	押田 恭一 (57) <令和6年4月> 博士(医学)
		栄養学 商品企画論 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	教授	大滝 ゆかり (55) <令和5年4月> 経営管理修士(専門職)
		ビューティ&ウェルネス入門 トリートメント基礎理論Ⅰ トリートメント基礎理論Ⅱ 企業実習Ⅴ(総合実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	准教授	菅谷 正美 (67) <令和5年4月> 経営管理修士(専門職)
		コミュニケーション演習 ホスピタリティ論 ホスピタリティ演習
実(研)	准教授	齋藤 典子 (59) <令和5年4月> 修士(経営学)
		キャリアデザインⅠ キャリアデザインⅡ
実(研)	准教授	小野 浩二 (48) <令和7年4月> 修士(体育学)
		運動指導演習 企業実習Ⅳ(運動指導実習)
実(研)	准教授	秋山 大介 (48) <令和7年4月> 学士(体育学)
		企業実習Ⅳ(運動指導実習) 商品開発と効果検証 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	准教授	大塚(吉田)美幸 (46) <令和5年4月> 技術経営修士(専門職)
		コミュニケーション論 ビジネスプレゼンテーション演習
実(研)	准教授	九島 紀子 (46) <令和5年4月> 博士(心理学)
		メイクアップ実習Ⅰ メイクアップ実習Ⅱ 企業実習Ⅲ(メイクサロン実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	講師	新井 達也 (44) <令和6年4月> 修士(工学)
		プランニング実習 トリートメント実践実習 品質管理演習 企業実習Ⅴ(総合実習) 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ
実(研)	講師	櫻井 麻美 (40) <令和5年4月> 博士(医学)
		生理学 フィットネス実習Ⅰ フィットネス実習Ⅱ フィットネス実習Ⅲ フィットネス実習Ⅳ
実(研)	教授	本鍋田 あゆみ (58) <令和7年4月> 短期大学卒
		ホリスティックセラピー実習 総合演習Ⅰ 総合演習Ⅱ

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	荒川 雅志 (51) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	荒川 雅志 (51) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	荒川 雅志 (52) <令和5年4月> 博士(医学)
		ビューティ&ウェルネス入門 ウェルネスツーリズム論			ビューティ&ウェルネス入門 ウェルネスツーリズム論			ビューティ&ウェルネス入門 ウェルネスツーリズム論
兼任	講師	田 芳 (55) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	田 芳 (54) <令和6年4月> 博士(文学)	兼任	講師	田 芳 (55) <令和6年4月> 博士(文学)
		中国語入門			中国語入門			中国語入門
兼任	講師	倉田 克史 (57) <令和5年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	倉田 克史 (57) <令和5年4月> 学士(経済学)	兼任	講師	倉田 克史 (58) <令和5年4月> 学士(経済学)
		伝統文化演習			伝統文化演習			伝統文化演習
						兼任	講師	永田 清江 (64) <令和5年10月> 高等学校卒
								伝統文化演習
						兼任	講師	渡辺 博 (36) <令和5年10月> 高等学校卒
								伝統文化演習
兼任	講師	神保 宗雅 (今井 美穂子) (40) <令和5年4月> 学士(文学)	兼任	講師	神保 宗雅 (今井 美穂子) (40) <令和5年4月> 学士(文学)	兼任	講師	神保 宗雅 (今井 美穂子) (41) <令和5年4月> 学士(文学)
		伝統文化演習			伝統文化演習			伝統文化演習
兼任	講師	滝澤 公子 (70) <令和5年4月> 歯学博士	兼任	講師	滝澤 公子 (70) <令和5年4月> 歯学博士	兼任	講師	滝澤 公子 (71) <令和5年4月> 歯学博士
		生命科学			生命科学			生命科学
			兼任	講師	齋部 幸枝 (61) <令和5年4月> 博士(学術)	専	准教授	齋部 幸枝 (62) <令和5年4月> 博士(学術)
					生命科学			生命科学
兼任	講師	栗浜 誠二 (64) <令和5年4月> 経済学士	兼任	講師	栗浜 誠二 (64) <令和5年4月> 経済学士			
		データサイエンス入門			データサイエンス入門			
						兼任	講師	穴沢 悦子 (63) <令和6年4月> 工学士
								データサイエンス入門
						兼任	講師	平岡 慶 (55) <令和6年4月> 理学士
								データサイエンス入門
						兼任	講師	田邊 美奈子 (61) <令和6年4月> 博士(学術)
								データサイエンス入門
兼任	講師	法眼 健作 (82) <令和6年4月> Master of Arts(英国)	兼任	講師	法眼 健作 (81) <令和6年4月> Master of Arts(英国)	兼任	講師	法眼 健作 (82) <令和6年4月> Master of Arts(英国)
		国際関係論			国際関係論			国際関係論
兼任	講師	松久 優成 (31) <令和6年4月> 法務博士(専門職)	兼任	講師	松久 優成 (30) <令和6年4月> 法務博士(専門職)	兼任	講師	松久 優成 (31) <令和6年4月> 法務博士(専門職)
		法学概論			法学概論			法学概論

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	川山 竜二 (37) <令和6年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	川山 竜二 (36) <令和6年4月> 修士(社会学)	兼任	講師	川山 竜二 (37) <令和6年4月> 修士(社会学)
		現代社会論			現代社会論			現代社会論
兼任	講師	島内 憲夫 (73) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	島内 憲夫 (73) <令和5年4月> 博士(医学)	兼任	講師	島内 憲夫 (74) <令和5年4月> 博士(医学)
		ヘルスプロモーション概論			ヘルスプロモーション概論			ヘルスプロモーション概論
兼任	講師	吉長 成恭 (72) <令和6年4月> 医学博士	兼任	講師	吉長 成恭 (71) <令和6年4月> 医学博士	兼任	講師	吉長 成恭 (72) <令和6年4月> 医学博士
		病態生理学 ヘルスケア産業論			病態生理学 ヘルスケア産業論			病態生理学 ヘルスケア産業論
兼任	講師	塩谷 信幸 (93) <令和7年4月> 医学士	兼任	講師	塩谷 信幸 (91) <令和7年4月> 医学士	兼任	講師	塩谷 信幸 (92) <令和7年4月> 医学士
		アンチエイジングの科学			アンチエイジングの科学			アンチエイジングの科学
兼任	講師	一石 英一郎 (59) <令和7年4月> 医学博士	兼任	講師	一石 英一郎 (57) <令和7年4月> 医学博士	兼任	講師	一石 英一郎 (58) <令和7年4月> 医学博士
		統合医療論			統合医療論			統合医療論
兼任	講師	重田(岡田) やよひ (72) <令和5年4月> 専門学校卒	兼任	講師	重田(岡田) やよひ (72) <令和5年4月> 専門学校卒	兼任	講師	重田(岡田) やよひ (73) <令和5年4月> 専門学校卒
		メイクアップ実習Ⅰ メイクアップ実習Ⅱ			メイクアップ実習Ⅰ メイクアップ実習Ⅱ			メイクアップ実習Ⅰ メイクアップ実習Ⅱ
兼任	講師	森実 まり (51) <令和5年4月> 専門学校卒	兼任	講師	森実 まり (51) <令和5年4月> 専門学校卒	兼任	講師	森実 まり (52) <令和5年4月> 専門学校卒
		ネイルデザイン実習Ⅰ ネイルデザイン実習Ⅱ			ネイルデザイン実習Ⅰ ネイルデザイン実習Ⅱ			ネイルデザイン実習Ⅰ ネイルデザイン実習Ⅱ
兼任	講師	公文 裕子 (80) <令和6年4月> 短期大学卒	兼任	講師	公文 裕子 (79) <令和6年4月> 短期大学卒	兼任	講師	公文 裕子 (80) <令和6年4月> 短期大学卒
		美の変遷と展望 トータルコーディネート実習			美の変遷と展望 トータルコーディネート実習			美の変遷と展望 トータルコーディネート実習
						兼任	講師	鈴木 ひろ子 (70) <令和6年4月> 専門学校卒 美の変遷と展望 トータルコーディネート実習
						兼任	講師	謝 直玲 (52) <令和6年4月> 博士(造形学) 美の変遷と展望 トータルコーディネート実習
兼任	講師	三浦 南海子 (71) <令和6年4月> 教養学士	兼任	講師	三浦 南海子 (70) <令和6年4月> 教養学士	兼任	講師	三浦 南海子 (71) <令和6年4月> 教養学士
		色彩学			色彩学			色彩学
兼任	講師	柳川 舞 (51) <令和7年4月> 修士(コミュニケーション学)	兼任	講師	柳川 舞 (49) <令和7年4月> 修士(コミュニケーション学)	兼任	講師	柳川 舞 (50) <令和7年4月> 修士(コミュニケーション学)
		アロマセラピー演習			アロマセラピー演習			アロマセラピー演習
兼任	講師	藤村 博之 (67) <令和6年4月> 博士(経済学)	兼任	講師	藤村 博之 (66) <令和6年4月> 博士(経済学)			
		サービス科学の基礎			サービス科学の基礎			
						兼任	講師	幡織 博 (65) <令和6年4月> 博士(経営学) サービス科学の基礎

専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等	専任・兼任・兼任の別	職名	氏名 (年齢) <就任(予定)年月> 保有学位等
		担当授業科目名			担当授業科目名			担当授業科目名
兼任	講師	渡辺 演久 (47) <令和6年4月> 修士(法学)	兼任	講師	渡辺 演久 (46) <令和6年4月> 修士(法学)	兼任	講師	渡辺 演久 (47) <令和6年4月> 修士(法学)
		消費者生活論(関係法規を含む)			消費者生活論(関係法規を含む)			消費者生活論(関係法規を含む)
兼任	講師	櫻田 竜路 (60) <令和7年4月> 経済学士	兼任	講師	櫻田 竜路 (58) <令和7年4月> 経済学士	兼任	講師	櫻田 竜路 (59) <令和7年4月> 経済学士
		地域産業活性論 ウェブメディア演習			地域産業活性論 ウェブメディア演習			地域産業活性論 ウェブメディア演習
兼任	講師	山田(奥名) 祐子 (49) <令和7年4月> 事業構想修士(専門職)	兼任	講師	山田(奥名) 祐子 (47) <令和7年4月> 事業構想修士(専門職)	兼任	講師	山田(奥名) 祐子 (48) <令和7年4月> 事業構想修士(専門職)
		インバウンド論			インバウンド論			インバウンド論
兼任	講師	坂本 和子 (65) <令和7年4月> 博士(経営学)	兼任	講師	坂本 和子 (63) <令和7年4月> 博士(経営学)	兼任	講師	坂本 和子 (64) <令和7年4月> 博士(経営学)
		消費者心理論			消費者心理論			消費者心理論
			兼任	講師	青木 武生 (65) <令和6年4月> 博士(医学)			
					人体構造学			
			兼任	講師		兼任	講師	中居 知子 (48) <令和6年4月> 修士(教育学)
					フェイシャルトリートメント実習Ⅱ			

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第3号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教員名簿」を確認してください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の教員全て(兼任、兼任教員を含む。)を黒字で記入してください。
- その上で、各年度については、**認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。**
- ・ 年齢は、**それぞれの年度の5月1日時点の満年齢**を記入してください。
 - ・ 専任(専門職大学等は専、実専、実(研)、実(実)、兼任、兼任の順に記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和5年度開設であれば令和4年度以前)の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「担当授業科目名」の上段に変更後のカリキュラム(新カリキュラム)の授業科目名を記入するとともに、下段に変更前のカリキュラム(旧カリキュラム)の授業科目名を記入してください。

(1) ②担当教員表に関する変更内容

【令和5年度】

- ・石田航講師就任辞退により、横田悠季講師に変更。令和5年2月AC教員審査済み。
- ・山崎泰明教授就任辞退により、新井卓二教授に変更。令和5年5月AC教員審査済み。
- ・林明人教授就任辞退により、令和5年度のみ青木武生非常勤講師に変更。後任について、令和6年4月から専任教員採用予定。
- ・教育効果を高めるため、園部幸枝非常勤講師就任。

【令和6年度】

- ・押田恭一教授の就任年月について、令和7年4月から令和6年4月に変更。
- ・教育効果を高めるため、永田清江非常勤講師・渡辺博非常勤講師就任。
- ・教育効果を高めるため、園部幸枝非常勤講師が准教授就任。令和6年2月AC教員審査済み。
- ・乗浜誠二非常勤講師就任により、穴沢悦子非常勤講師・平尾慶非常勤講師・田邊美奈子非常勤講師に変更。
- ・教育効果を高めるため、鈴木ひろ子非常勤講師・謝惠玲非常勤講師就任。
- ・藤村博之非常勤講師就任辞退により、幡鎌博非常勤講師就任。
- ・林明人教授就任辞退により、南沢享教授に変更。令和6年5月AC教員審査済み。令和6年6月から専任教員採用予定。
- ・教育効果を高めるため、中居知子非常勤講師就任。

- (注) ・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の専任教員を変更する場合は**、当該専任教員が授業を開始する前に必ず「専任教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（AC教員審査）を受けてください。**原則としてAC教員審査を受けずに専任教員として授業等を担当することは出来ません。**
 - ・ AC教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「〇年〇月教員審査済」と記入してください。
- なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
- ・ 不要な年度（令和5年度開設であれば令和4年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 専任教員数等

(2)-① 設置基準上の必要専任教員数

完成年度時における設置基準上の必要専任教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要教授数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要実務家教員数	専任教員数のうち、完成年度時における設置基準上の必要な研究業績を有する実務家教員数
35	18	14	7
名	名	名	名

(注) ・ 大学設置基準別表第一イ(2)及び第四十二条の六、専門職大学設置基準別表第一イ及び第三十六条、専門職短期大学設置基準別表第一イ及び第三十三条により算出される専任教員数を記入してください。

(2)-② 専任教員等数【専門職大学等】

設置時の計画						現在(報告時)の状況					
教授	准教授	講師	助教	計(A)	助手(A')	教授	准教授	講師	助教	計(B)	助手(B')
19	10	12	7	48	0	15	9	9	6	39	0
(11)	(7)	(5)	(4)	(27)	(0)						
専任教員数(専)		専任教員数(実専)		専任教員数(実(研))		みなし専任教員数		専任教員数(専)		専任教員数(実(研))	
13	22	12	1	0	0	13	18	8	0	0	0
(10)	(11)	(6)	(0)	(0)	(0)						
現在(報告時)の完成年度時の状況						現在(報告時)の完成年度時の計画					
教授	准教授	講師	助教	計(C)	助手(C')	教授	准教授	講師	助教	計(D)	助手(D')
19	11	12	7	49	0	19	11	12	7	49	0
[0]	[+1]	[0]	[0]	[+1]	[0]	[0]	[+1]	[0]	[0]	[+1]	[0]
専任教員数(専)		専任教員数(実専)		専任教員数(実(研))		みなし専任教員数		専任教員数(専)		専任教員数(実(研))	
14	22	12	1	0	0	14	22	12	1	0	0
[+1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[+1]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注) ・ 「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、()内に開設時の状況を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を要済済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、[]内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例: 1名減の場合: Δ1)
 ・ 「実専」は実務家教員、「実(研)」は研究能力を併せ有する実務家教員を計上してください。
 なお、みなし専任教員(実み)がある場合は、必要に応じて各項目の教員数に計上してください。
 ・ 「みなし専任教員数」には、「実専」に計上している実務家教員数のうち、みなし専任教員の教員数を計上してください。

(2)-③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める定年年齢(歳)	報告時(上記(B))の教員のうち、定年を延長して採用している教員数	完成年度時(上記(C))の教員のうち、定年を延長して採用する教員数
教授 70 教授以外 67	0	4
歳	名	名

(注) ・ 「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて専任教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて専任教員として採用する教員数を記入してください。
 ・ なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2)-④ 設置時の計画に対する教員充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C) = $\frac{49}{48} = 102.08\%$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数 = $\frac{0}{39} = 0\%$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2)-⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

現在(報告時)の完成年度時の状況(C') = $\frac{0}{0} = -\%$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 専任教員辞任等の理由

(3) - ① 専任教員の就任辞退（未就任）の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	教授	林 明人	R5.2	必修	人体構造学	①	R5.2 自己都合のため就任辞退（5）			
				必修	衛生学・公衆衛生学	①				
2	教授	山崎 泰明	R4.9	必修	経済学	①	R4.9 自己都合のため就任辞退（5）			
				必修	ファイナンスの基礎	①				
3	講師	石田 航	R4.10	必修	心理学	①	R4.10 自己都合のため就任辞退（5）			
				必修	カウンセリング論	①				
				必修	カウンセリング演習	①				
				必修	総合演習Ⅰ	①				
				必修	総合演習Ⅱ	①				
合計（D）					後任補充状況の集計（E）					
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
3	人	必修	9	科目	必修	9	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	9	科目	計	9	科目	計	0	科目

- (注) ・ 認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての専任教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。
- ・ 「就任辞退（未就任）」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。就任した後に辞任した教員は、以下「(3) - ②専任教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。
 - ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退（未就任）の理由」に就任辞退の理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ② 専任教員辞任の理由及び後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注) ・ 一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての専任教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- | |
|---|
| <ul style="list-style-type: none"> ・ 専任教員が担当する（している）場合は「①」 ・ 兼任兼担教員が担当する（している）場合は「②」 ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」 |
|---|

(3) - ③ 上記 (3) - ① ・ (3) - ② の合計

合計 (D) + (F)			後任補充状況の集計 (E) + (G)					
辞任等した教員数	担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
3 人	必修	9 科目	必修	9 科目	必修	0 科目	必修	0 科目
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目
	計	9 科目	計	9 科目	計	0 科目	計	0 科目

(3) - ④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3) - ③ \text{合計 (D) + (F)}}{(2) - ② \text{設置時の計画 (A)}} = \frac{3}{48} = 6.25 \%$$

(注) ・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) - ⑤ 令和5年度報告書から、新たに辞任等した専任教員等の状況

0 人

(注) ・ (3) - ①、(3) - ②で赤字で記載した専任教員数の合計数を記載してください。

・ 令和6年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) - ⑥ 定年により退職した専任教員に対する後任補充状況

番号	職位	専任教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし							
合計					後任補充状況の集計				
辞任した教員数		担当科目数の合計 (a) + (b) + (c)		①の合計数 (a)		②の合計数 (b)		③の合計数 (c)	
0 人	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	必修	0 科目	
	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	選択	0 科目	
	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	自由	0 科目	
	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	計	0 科目	

(注) ・ 定年により退職した全ての専任教員について、記入してください。

・ 昨年度の報告後から今年度の報告時まで専任教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び () 書きで報告年度を記入してください。

・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

- ・ 専任教員が担当する (している) 場合は「①」
- ・ 兼任兼担教員が担当する (している) 場合は「②」
- ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 専任教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

3名の専任教員就任予定者が自己都合により就任辞退したことは遺憾であったが、うち2名については授業開始までに就任辞退した教員と遜色のない業績のある専任教員の後任補充者を採用することができ、問題なく対応ができたと考えている。後任未定の1名については、就任辞退が授業開始の直前であったため、AC教員審査が間に合わず、やむを得ず教育研究業績の申し分のない非常勤講師を採用したが、次年度の授業開始までに後任の専任教員を採用したいと考えている。(5)
後任未定だった「人体構造学」「衛生学・公衆衛生学」の担当教員1名についても、授業開始までに後任補充者を採用した。(6)
学生への周知については、設置計画履行状況報告書をホームページに掲載するとともに、年度はじめのオリエンテーションや履修登録ガイダンスにおいても学生に直接説明をした。(6)

(注) ・ 上記 (3) の専任教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等		履 行 状 況		今 後 の 実 施 計 画
<p>認 可 時 (令和5年)</p>	<p>・設置の趣旨・目的等が生かされるよう、設置計画を確実に履行すること。また、学術の中心として広く知識を授けるとともに深く専門の学芸を教授研究するという大学の目的、さらに専門性が求められる職業を担うための実践的かつ応用的な能力を展開するという専門職大学の目的に照らし、開設時から充実した教育研究活動を行うことはもとより、その水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>入学式後のオリエンテーションにおいて、本学設置の経緯、教育理念、3つのポリシー等を記載した学生便覧を活用し、説明した。 1年次開設科目を着実に実施し、学生に体系的・総合的に広い知識と専門的能力を修得させる。特に、前期配当科目「ビューティ&ウェルネス入門」では、「ビューティ&ウェルネス」について理解を深め、ビューティ&ウェルネス産業における自らの未来を想像させることで、本学の設置の趣旨や目的、養成する人材像を学生に理解させる。(5)(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>全教員（非常勤講師を含む。）を対象とした教育方法に関する研修会を開催し、「ビューティ&ウェルネス」や「ビューティ&ウェルネス産業」について理解を深め、本学の設置の趣旨や目的、養成する人材像の共有化を図るとともに、各教科の教育水準の向上に努める。(5)そのために研究力の向上を図り、社会への発信力を高める。(6)</p>
<p>認 可 時 (令和5年)</p>	<p>・教育課程連携協議会の適切な運用等により、養成する人材像やディプロマ・ポリシー、カリキュラム・ポリシー等に基づき、時宜に応じた教育課程が、将来にわたって持続的かつ効果的に編成されるとともに、その教育水準を一層向上させるよう努めること。</p>	<p>【認可】 遵守事項</p>	<p>教育課程連携協議会を設置した。また、同協議会の開催に向けて、学生の授業評価アンケートやピアレビュー等の準備を進めた。 (5) 令和6年3月24日に第1回教育課程連携協議会を開催した。同協議会の第2回開催に向けて、準備を進めている。(6)</p>	<p>履行中</p>	<p>教育課程連携協議会は、年2回の開催を予定している。開設科目の実施状況を踏まえ、ビューティ&ウェルネス産業界や地域社会の学外の有識者からの意見等に基づき、教育内容・方法等の見直しを行う。(5)(6)</p>
<p>設置計画履行状況 調 査 結 果 (令和5年度)</p>	<p>・教育内容の充実等を通じ、収容定員未充足の改善に努めること。</p>	<p>【AC】 指摘事項 (改善)</p>	<p>収容定員充足に向け、以下のような方策を実施している。(6) ・在学生の出身校に、教職員と学生とで訪問し、顔馴染みの高校教員に対して本学の趣旨や教育・研究体制をより明確に知って頂き、さらに出前授業等を提案し、実施した。 ・オープンキャンパスの内容を再検討し、受験生が本学により興味を抱くような魅力的なプログラムを構築し、実施した。 ・入試広報課職員による本学近隣（一都三県）の高等学校訪問を行った。さらに、地方の高等学校まで範囲を拡大し、本学の存在と設置の意義の周知に努めている。 ・学生目線での本学独自の魅力をInstagram等で発信するため、在学生有志による学生募集チームBEWS（ビューズ）を組織した。 ・大学案内に加え、高校生やその保護者に向けた入試関連情報や本学の教育内容などを分かりやすく伝えるための広報誌の発行やWEB配信を企画した。</p>	<p>履行中</p>	<p>収容定員充足に向け、昨年度に引き続き、高校訪問とインターネットを活用した情報発信に注力する。あわせて、以下のような取り組みを行う。(6) ・大学の教育・研究の内容を通して、本学の学びの魅力が伝わるようにホームページを改修する。 ・オープンキャンパスの内容について、模擬授業内容を見直し、専門職大学らしい「実習」を多く取り入れる。また、専門職大学の卒業後の進路が見えにくいという声が少ないことから、就職先として想定される企業に講演を依頼する。 ・社会人や留学生の入学生を増やすための方策を検討するとともに、受け入れ体制を確立する。</p>

- (注) ・ 「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。
- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおりに記載してください。
【令和5年度報告書から記載内容に変更がある場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
【令和5年度報告書から記載内容に変更がない場合】
令和5年度報告書の記載内容を転記し文末に「（5）（6）」と記載してください。
【令和6年度から新たに調査対象となった学科等又は令和5年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】
「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（6）」と記載してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
 - ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
 - ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
 - ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<ビューティ&ウェルネス学部 ビューティ&ウェルネス学科>

(1) 設置計画変更事項等

設置時の計画	変更内容・状況、今後の見通しなど
<p>① 施設・設備</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 情報処理室、講義室 ・ 学生食堂 ・ 共同利用研究室 <p>② 入学者選抜</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 選抜方法別の募集人員 ・ 社会人選抜、帰国生徒選抜 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報処理室（210.22㎡）の天井が老朽化により、雨漏りのリスクがあることが判明したため、精密機器を使用する教室として不適当と判断し、講義室1室（135.00㎡）を情報処理室に転用し、情報処理室は講義室に転用した。 ・ 校舎地下1階の学生控室兼自習室（407.5㎡）について、隣接スペースに厨房を整備し、学生食堂としても利用できるように整備した。 ・ 校舎地下1階に共同利用研究室（実験室214.03㎡）を整備した。ビューティ&ウェルネスに関する研究活動を行い、関連する施設・設備・専門知識を学内研究者および学生に提供する。また、学外の教育・研究機関からの共同研究による利用についても検討する。 ・ 入学定員234人の選抜方法別の募集人員について、開学年度である2023年度入学者選抜は、一般選抜34人、総合型選抜100人、学校推薦型選抜100人であったが、大幅な収容定員未充足という事態を受け、2024年度入学者選抜においては、一般選抜20人、総合型選抜120人、学校推薦型選抜90人に変更し、大学入試の早期化に対応した。 さらに、全国各層から広く、多角的に人材を集めるため、社会人選抜、帰国生徒選抜（募集人員若干名）を実施した。

(注) ・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

<p>① 実施体制</p> <p>a 委員会の設置状況 FD・SD委員会を設置した。（資料1「FD・SD委員会規程」参照）</p> <p>b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む） 令和5年度は、委員会を3回開催し、全ての回に委員全員（6名）が出席した。 第1回：令和5年5月22日 第2回：令和5年9月12日 第3回：令和5年12月8日</p> <p>c 委員会の審議事項等</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 教育の質の向上に関すること ・ 授業の内容及び方法の改善に関すること ・ 授業評価に関すること ・ 研修会及び講習会の開催に関すること ・ 学生による授業評価の実施、結果の分析及び利用に関すること ・ その他教育研究活動等の改善に関すること
--

② 実施状況

a 実施内容

- ・ 授業方法の向上に関する研究会（予定）
- ・ 教員相互の授業参観（予定）
- ・ 全教員対象に大学の運営課題に関する研修会
（「高等教育の動向及び専門職大学に対する社会からの期待」テーマに外部講師による講演）

b 実施方法

FD・SD委員会で決定したテーマごとに担当教員（外部教員を含む）が公開授業及び講習（研修）を実施した。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

令和6年1月26日 以下の内容のFD研修を実施し、27名の教員が参加した。

「高等教育の動向及び専門職大学に対する社会からの期待」をテーマに外部講師による講演

その他、全教職員を対象としたSD活動として、以下のとおり実施した。

- ・ 事例で「学ぶ/考える」研究倫理-誠実な科学者の心得事例で「学ぶ/考える」研究倫理（令和5年7月）
- ・ 生活安全指導の講演 /マルチ商法・闇バイトの危険性（令和6年5月）
- ・ 応急手当講習会（令和6年9月）

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

FD・SDを実施し、その効果を授業評価アンケート等で検証した。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

各期の授業終了後（7月・1月）に実施した。

b 教員や学生への公開状況、方法等

学生ポータルシステムを利用して公表した。

（注）・「①a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

① 体制

a 委員会の設置状況

教育課程連携協議会を設置した。(資料2「教育課程連携協議会構成員名簿」参照)

b 委員会の開催状況(回数や開催日など)

令和6年3月26日、第1回教育課程連携協議会を開催した。

(令和5年度は1回開催であったが、令和6年度からは年2回開催予定。)

- ・産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設その他の教育課程の編成に関する基本的な事項
- ・産業界及び地域社会との連携による授業の実施、その他の教育課程の実施に関する基本的な事項及びその実施状況の評価に関する事項

d その他

特になし

② 審議状況

a 審議した内容

- ・産業界及び地域社会との連携するために効果的な教育課程に対する提案内容

b 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への見直し状況

教育課程連携協議会の議論された事項は、構成員である副学長から運営会議に報告され、協議会からの提言について、今後検討していくこととした。具体的な提言内容は、

- ① 産業界及び地域社会との連携による授業科目の開設とその他の教育課程の編成に関する基本的な事項として、臨地実務実習の受入担当者の教育経験の有無や教育の質の保証の確保、実施内容の精査、実習先で万が一学生がケガをしてしまった場合の危機対応マニュアルの作成等について提言があった。
- ② 産業界及び地域社会との連携による授業の実施に関する事項及びその実施状況の評価に関する事項として、授業評価アンケートの回答率、回答結果を考慮し、担当教員へのフィードバックと今後の実施内容の見直しを図るよう提言があった。
- ③ 自己点検・評価に関する事項として、年度終了後、早めに自己点検・評価を行い、学内外に公表すべきであるとの提言があった。

c 教育課程連携協議会が審議した内容を踏まえた大学での教育課程への反映状況

臨地実務実習における教育内容についての提言を実習担当教員に伝え、今後の実習に活かすこととした。

具体的には、運営会議構成員(学長、副学長、学生部長、附属図書館長、学部長)及び臨地実務実習を担当する教員に情報を共有し、教育課程特に臨地実務実習の内容の精査と改善が必要な事項については見直しを図るよう、学長から教職員に対して指示があり、2024年度の授業に反映させている。また、自己点検・評価については、2024年9月までに自己点検・評価のチェックリストを作成し公表することとし、年末までに自己点検・評価報告書を作成することとしている。

2

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見
「ビューティ&ウェルネス専門職大学自己点検・評価委員会」において、自己点検・評価項目、評価基準等を策定中である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期
・令和6年度中（予定）

b 公表方法
・自己点検・評価報告書を大学ホームページ上に公表予定。

③ 認証評価を受ける計画
(専門職大学、専門職短期大学、専門職大学院については、機関別認証評価と分野別認証評価それぞれの受審計画について記載してください。)
・分野別認証評価は令和9年度、機関別認証評価は令和11年度に評価を受けるべく、評価機関を含め、学内で検討中。

(注) ・ 設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。
また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。
なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和6年度）

a 公表予定の有無 [有 ・ 無]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後1ヶ月以内 ・ 公表後2～3ヶ月以内 ・ 公表後3ヶ月以降]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載 ・ その他 ()]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。